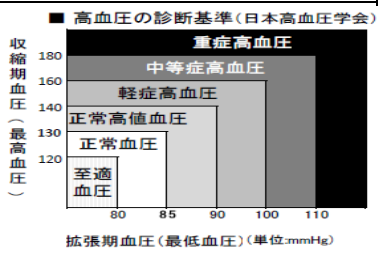
結果の意義

<table>
<tr><th colspan="2">項　　目</th><th>意　　義</th></tr>
<tr><td rowspan="3">身体計測</td><td>BMI</td><td>体格指数 Body Mass Index の略で体重（kg）/身長（m)² で算出します。
<table>
<tr><td>BMI</td><td>～18.4</td><td>18.5～24.9</td><td>25.0～</td></tr>
<tr><td>判定</td><td>やせ</td><td>正常</td><td>肥満</td></tr>
</table></td></tr>
<tr><td>標準体重</td><td>身長（m)²×22 で算出します。BMI が 22 近辺の時に，病気の合併が最も少ないという日本における疫学調査成績に基づいています。</td></tr>
<tr><td>腹囲</td><td>男性 85.0cm 以上，女性 90.0 cm 以上で内臓脂肪型肥満の疑いがあります。内臓脂肪が過剰に蓄積すると動脈硬化が進行します。</td></tr>
<tr><td colspan="2">血圧</td><td>血液が血管を流れる時に血管の壁に与える圧力を「血圧」といいます。心臓が収縮して血液を送るとき，血管に加わる圧力を「収縮期血圧」，心臓が拡張して，送り出した血液が心臓に戻って来た時に血管に加わる圧力を「拡張期血圧」といいます。高血圧になると心臓に負担がかかり，血管は傷み，動脈硬化が進行します。
 
</td></tr>
<tr><td colspan="2">胸部 X 線</td><td>肺炎、肺結核、気胸、肺がんなど、呼吸器の疾患の有無がわかります。</td></tr>
<tr><td rowspan="3">尿検査</td><td>糖</td><td>糖尿病の疑いがないかを調べる検査です。食後に検査をした時や、腎機能が低下している時も尿に糖が出ることがあります。</td></tr>
<tr><td>蛋白</td><td>腎臓の健康状態を知る上での重要な指標です。一時的な身体の状態により尿中に蛋白が出ることがあります。</td></tr>
<tr><td>潜血</td><td>腎臓から膀胱、尿道までの尿が通る経路に出血がないかを調べる検査です。女性は生理も影響します。</td></tr>
<tr><td rowspan="10">血液検査</td><td>中性脂肪</td><td>中性脂肪は糖質がエネルギーとして脂肪に変化したものです。エネルギーとして消費されなかった中性脂肪は，皮下脂肪や内臓脂肪として蓄えられます。高値の場合は，脂肪肝の合併が多く，動脈硬化を促進します。低値の場合は，栄養不足や消化器系の疾患，代謝異常などが上げられます。また，ストレスや病気が関連して低下することもあります。</td></tr>
<tr><td>LDL
コレステロール</td><td>LDL コレステロールは，肝臓で合成されて，全身に運ばれ，血管壁にたまっていくことから，悪玉コレステロールとも呼ばれます。LDL コレステロールが高値の場合，動脈硬化が進行します。低値の場合は栄養不足，甲状腺ホルモンが過剰になる甲状腺機能亢進症などの可能性があります。</td></tr>
<tr><td>HDL
コレステロール</td><td>HDL コレステロールは,血液中の余分なコレステロールを回収して肝臓に運搬・処理するため，善玉コレステロールとも呼ばれます。HDL コレステロールが低値の場合，動脈硬化が進行します。HDL コレステロールが低く、LDL コレステロールが高い場合は、食べすぎや運動不足などの生活習慣の乱れが原因の可能性があります。また、HDL コレステロールが低い場合は、動脈硬化になりやすいと言われていますので、低すぎる場合は精査が必要です。</td></tr>
<tr><td>尿酸</td><td>体内の新陳代謝の過程で生まれる老廃物です。高尿酸血症は痛風，尿路結石などの原因になります。</td></tr>
<tr><td>血糖</td><td>血液中のブドウ糖濃度です。糖尿病の疑いがあるかどうかを調べます。食後では高くなります。低値の場合は,食生活の乱れや栄養不足,頻度は低いですが,ホルモンの分泌異常なども考えられます。</td></tr>
<tr><td>白血球</td><td>外部から侵入したウィルスや細菌などの異物を攻撃する細胞です。炎症性疾患，血液のガン，喫煙等で増加します。</td></tr>
<tr><td>赤血球</td><td rowspan="3">赤血球，血色素，ヘマトクリットは貧血の検査です。低値の場合は，鉄欠乏性貧血等が疑われます。高値の場合は,多血症や脱水症状などが考えられるほか,喫煙やストレスなどでも上昇します。</td></tr>
<tr><td>血色素</td></tr>
<tr><td>ヘマトクリット</td></tr>
<tr><td>血小板</td><td>止血させる作用があります。血小板数が少なくなると，出血しやすくなります。あるいは，止血しにくくなります。また,高値を示す場合は,血小板増多症,骨髄繊維症,鉄欠乏性貧血なども疑われます。膠原病や血液のガンでも異常値を示すことがあります。</td></tr>
</table>